

2020年4月

町 田 市 小 川 自 治 会

2020年度 定期 総 会

議 題

1. 2019年度 事業報告
2. 2019年度 会計報告
3. 2019年度 会計監査報告
4. 役員改選
5. 2020年度 事業計画
6. 2020年度 予算

注) 2020年役員(案)は別紙回覧

2019年度 事業報告

2019年4月1日～2020年3月31日

総 括

基本方針 “安全・安心・連帯感のある、楽しい街づくり”

2016年度に実施した自治会活動のあり方の見直しプロジェクトに基づき実行された改革「働き方改革」を継続実施し、活動の簡素化と効率化は着実に効果を上げつつある。特に班長のワークロードは以前に比べ大幅に削減した。

一時は1,200世帯を切っていた会員も積極的な加入促進により、若干の増減はあるが、1,210世帯前後で推移している。

一方「安全・安心（防災・防犯）の街づくり」も積極的に活動を行った。防災では初めて避難所開設訓練を実施したほか、各支隊の実践的な訓練や啓発活動を展開、「安全・安心」のもう一方の柱である防犯は、2019年度もパトロールを中心に活動し、侵入窃盗他主要犯罪の発生が侵入窃盗の未遂1件にとどまった。ただ近隣地域では相変わらず犯罪が発生しており予断は許さない。防犯活動で大活躍した「防犯青パト隊」が隊員（特に運転手）の高齢化、車両の老朽化の為、2019年10月末で丸10年間の活動を一時中止した。

第2次青パト隊については検討中で2020年度の方針で述べる。

2019年度重点施策で取り上げていた、組織（特に支部組織）の見直しは持ち越しとなった。

その他詳しくは部門報告に譲る。

部 門 報 告

1. 総務部

①会員情報：入会＝15世帯、退会＝18世帯、期末会員数＝1,209

②会員名簿発行：10月

③広報活動：自治会だより（毎月発行）

掲示板 4箇所補修

ホームページ運営 内容一部改訂

2011年開設以来約9年 アクセス回数＝約24,000回

最近では届け出用紙などのダウンロード使用も多い

④会議運営（2017年度から会議の開催回数削減）

・定例役員会： 3回開催

（台風と新型コロナウイルスの影響で2回中止、資料のみ配布）

・幹部会： 3回開催（新型コロナウイルスの影響で1回中止、資料配布）

・定期総会： 4月 出席＝126名、委任状＝755名

⑤敬老祝い品：24名

⑥お悔やみ：21名（家族葬が増え生花減少 1名）

⑦出産祝い金：9名

2. 環境部

①資源回収実績（1月～12月） 量（単位：t）

2015	2016	2017	2018	2019
182.4	172.6	184.0	187.6	169.2

- ・2019年度自治会収入：35万円（予算36万円）
減少は不法持ち去り等によるものではなく、自然減と思われる
- ・2016年から資源持ち去り防止対策実施
持ち去りもほとんど見かけず効果は出ている

②市の公園管理団体として登録。町内4公園（せんげん、下小川、かえで、柳谷戸）を小川子ども会と連携して年2回清掃実施

- ・上期は4公園で100人参加。ごみ113袋収集
- ・下期は4公園で81名参加。ごみ129袋収集
（蜂谷戸公園は小川熟社会に委託）

3. 行事部

①小川子供祭り：8月24日（土） 会場：せんげん公園

小

川子ども会と協力開催

- ・暑いが晴天に恵まれ熱心なお子さま・親御さん約180名参加
他に来賓、スタッフ（役員、お手伝い）併せて総勢約250名参加
- ・恒例の子供神輿2台も約1時間町内を練り歩き
少年野球チーム「小川パワーズ」が協力
- ・8種類の模擬店で合計1,196枚の金券販売
今年初めて出店した射的と昨年から出店したフランクフルトソーセージの屋台が好評。暑くてラムネと氷もよく売れた。
- ・ビンゴ大会も盛況で約110人が参加

②テント1張買い替え

4. 防災対策部

①町田消防署から「救急業務の充実・発展に貢献」で感謝状を授与

②総合防災訓練実施： 10月21日

- ・午前中の「無事です」の旗出し訓練 参加率約87%（前年76%）
- ・午後の訓練「避難施設への避難 避難所体験訓練」 小川小学校
小田急金森自治会との合同訓練 200名参加
「避難所受付手続」「災害備蓄品の説明」
「居住スペース体感」「バルーン投光器組立・運転」
「マンホールトイレ・仮設トイレの使い方」
「非常用トイレ組立・設置」
「ろ過器の組立・運転、使用方法」など

実践的訓練で有意義であったが、要配慮の方への対応など今後の課題も有り

- ③各支隊訓練：支隊中心の実戦的訓練、スタンドパイプ放水訓練など
 ④防災セミナー「避難所生活・運営のヒント」 31名参加 9月 8日
 ⑤広報：自治会だより防災記事と各支隊防災便り発行
 ⑥会議：隊長支隊長会議・・・7回開催
 全体会議 出席—49名、委任状=42名 4月21日

5. 安全対策部

- ①青パト隊が10月で活動開始満10年経過、町内の安全安心に多大の貢献を行ったが、隊員の高齢化・車輛の老朽化の為、10月末で一旦活動休止

10年間の活動実績

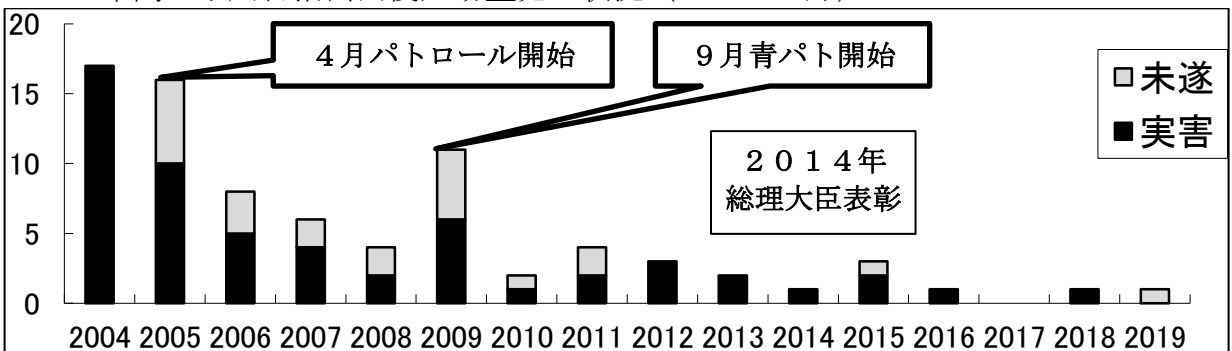
パトロール回数：2,475回 延べ人員：6,575人
 参加隊員：40名 走行距離：約28,550Km
 小川小学校安全対策員同乗：200人 登校見守り：約1,300日
 その他活動：自治会行事（子供祭り・餅つき大会・公園清掃）、防災（訓練・広報・警備）、市・警察署のイベント参加 など

第2次青パト隊は現在検討中

- ②パトロール活動は2005年4月開始以来満15年実施 15年間で
 4隊併せパトロール回数=約16,500回、延べ人数=約80,000人
 ③歳末特別警戒：12月28日青パトで特別パトロール計4回実施
 ④「悪徳訪問販売お断り」ステッカー作成、配布 5月
 町田市内犯罪発生状況（1～12月）（町田市役所配信情報より）

	町田市	南地区	小川	自治会内
侵入窃盗	191	64	6	1
車上狙い	65	28	3	0
特殊詐欺	109	—	—	—

- 15年間の小川自治会内侵入窃盗発生状況（1～12月）



- 防犯パトロール隊の活動実績（1～12月）

	1丁目隊	2丁目隊	34丁目隊	青パト隊	合計
回数	108	347	91	123	669
延人数	387	1,405	408	329	2,529
隊員数	40	40	40	26	128

注) パトロール隊と青パト隊は重複する人がいるため隊員数の合計は合わない

2020年度 事業計画 (案)

2020年4月1日～2021年3月31日

0. 初めに：高齢化などによる本部役員の退任がある一方、新規の役員のなり手はほとんどなしの状態、自治会は存続の危機にある。
本年は何とか存続させるために活動の思い切った簡素化を図る。
なお来年度も本部役員のなりての可能性が低い場合は、自治会の解散も視野に入れた検討を年度後半には行わざるを得ない。

1. 基本方針 “安全・安心・連帯感のある、楽しい街づくり” (継続)

2. 2020年度の活動方針

- ①活動は防災・防犯活動中心にし、他の活動は一部を除き簡素化する。
- ②防災・防犯活動も運営は「自主防災隊」「防犯パトロール隊」に完全に移管し、自治会本部は経費面での支援(予算配分)のみ行う。
 防災・防犯の具体的方針・実施項目は次ページ参照
- ③防災・防犯以外の活動も可能な限り簡素化する。
 - ・広報(自治会だより、ホームページ)
 - ・会議(定期総会、全体役員会の資料)
 - ・役員名簿(住所・電話番号入りは役員のみ配布、氏名のみの一覧表を回覧)
 - ・役員マニュアル など
- ④組織 ・支部、班の再編成の検討
- ⑤会員(防災の観点から自治会未加入者への積極的加入働きかけ継続)
 - ・新築戸建て住宅への施行会社・販売会社からの入居時紹介依頼など

3. 2020年度の主な活動計画

実施時期	内容	担当部門
4～6月	定期総会(4月12日) 自主防災訓練	総務部 防災隊
7～9月	上期公園一斉清掃 小川子供祭り(8月最終土曜日) 敬老の日祝い品	環境部 行事部 総務部
10～12月	自主防災訓練 防災講習会 下期公園一斉清掃	防災隊 防災隊 環境部
1～3月	新年度役員選出 定期総会(4月)	総務部 総務部

防犯パトロール活動と防災隊活動は通年実施

主要会議予定

- | | |
|----------|-----------------------------|
| ◇全体役員会 | 年5回(5, 7, 10, 1月、3月)第2日曜日午前 |
| ◇幹部会 | 年4～6回 原則役員会終了後 |
| ◇役員選考委員会 | 10月～3月 原則幹部会と同一日 |
| ◇防犯連絡会議 | 年4回(5, 7, 10, 1月)第2日曜日 午後 |
| ◇防災支隊長会議 | 不定期 2～3カ月に1度 |

4. 小川自治会自主防災隊 2020年活動

方針：「非常時（首都直下地震発災）を想定した防災対策・訓練の実施」

- 防災意識の向上に向けた防災訓練・啓蒙活動の取り組み
隊員に対する防災意識の啓蒙活動を強化する
- 全体訓練の年2回実施
6月 旗出し「安否確認」訓練
10月 避難施設への避難と避難所開設訓練
*非常時を想定した避難訓練の実施
*避難所の内容・実態を体験し課題・問題点への対応
- 水・食料・トイレ対策
震災発生後の在宅避難生活で必要とされる備蓄品に対する取り組み
*各家庭での備蓄品の備えの現状把握
*何を準備するか⇒水・食料・非常用トイレを重点項目とする
*高齢者対策として共同購入の検討
- 火災対策
小川地区に津波被害は想定されず、火災発生による被害拡大の防止が最大の対策であり、火災発生の主原因とされる通電火災対策とスタンドパイプによる消火活動訓練に取り組む
- 情報・広報の共通化
*全世帯への情報発信（防災隊便り）

5. 小川自治会防犯 2020年活動

方針：「パトロールの継続とパトロールを補完または代替する活動の検討」

- 歩くパトロールは従来通り1丁目、2丁目、3・4丁目の3隊で実施
- 連絡会議を定期的開催。事務局は3隊持ち回り
- 隊員の高齢化・減少が著しく、早急に代替または補完する防犯対策が必要
防犯カメラの採用など人に頼らない対策を検討
- 一方パトロールは効果的なため、新規隊員の勧誘も積極的に行う
- 第2次の青パト隊については本部（自治会長）主導で検討チームを設け
人材、機材、費用面から総合的な判断を当期中頃までに行う
- お子様の安全対策としての小川小学校登校見守りは要員不足の為中止
- 防犯活動の一環で町田市と協定を結び支援を受けて2016年から実施してきた「資源の違法持去り行為防止活動」は初期の目的を達成したため、
2019年度末で協定を解除し、活動を中止

